

I 管内の概況

(1) 地勢・人口・気象

木曽地域は、県の南西部に位置し、南北約 60km、東西約 50km で、鳥居峠を境に南に流れる木曽川流域と御嶽山麓地域の 3 町 3 村で構成されている。

地形は、総面積 1,546.15k m² で県土の 11.4% を占め、そのうち 93.4% が森林で一般に急峻である。標高は、南木曽町役場で 412m、木曽町役場開田支所で 1,108m と高低差が著しい。

人口は令和 2 年 4 月 1 日現在 25,458 人で、県人口の約 1.2% を占め、昭和 35 年以来減少を続けている。町村の推計では、2040 年には 2 万人を下回ると見込まれている。

気象は、県内他地域に比べ年間降水量が多く、平均気温はやや低い。

平成 17 年 2 月 13 日に山口村が岐阜県中津川市へ、平成 17 年 4 月 1 日には檜川村が塩尻市へ編入された。平成 17 年 11 月 1 日には、木曽福島町、日義村、開田村、三岳村の 4 町村が合併し木曽町となっている。

(2) 交通・産業

古くから中山道の交通の要所として発展を遂げてきたが、現在は国道 19 号と J R 中央本線が交通の基幹をなし、中京生活圏と長野県を結んでいる。

平成 18 年 2 月に伊那木曽連絡道路（国道 361 号線）の「権兵衛トンネル」（総延長 4.47km）が供用開始となり、木曽谷と伊那谷の両地域の生活道路の一部として利用されている。

豊かな森林資源を背景に木材関連産業が発展してきたことは全国的にも知られているが、近年は低迷を続けている。これに代わり、自動車部品や電子部品等の生産が木曽地域の製造業をけん引している。

「日本遺産」に認定された旧中山道や宿場、溪谷などの自然美、伝統工芸など優れた観光資源が豊富であるが、観光客の入り込みは平成 6 年をピークに低落傾向にあり、さらに平成 26 年 9 月の御嶽山噴火災害で大きく落ち込み、災害前の水準に戻っていない。

[管内の人口等]

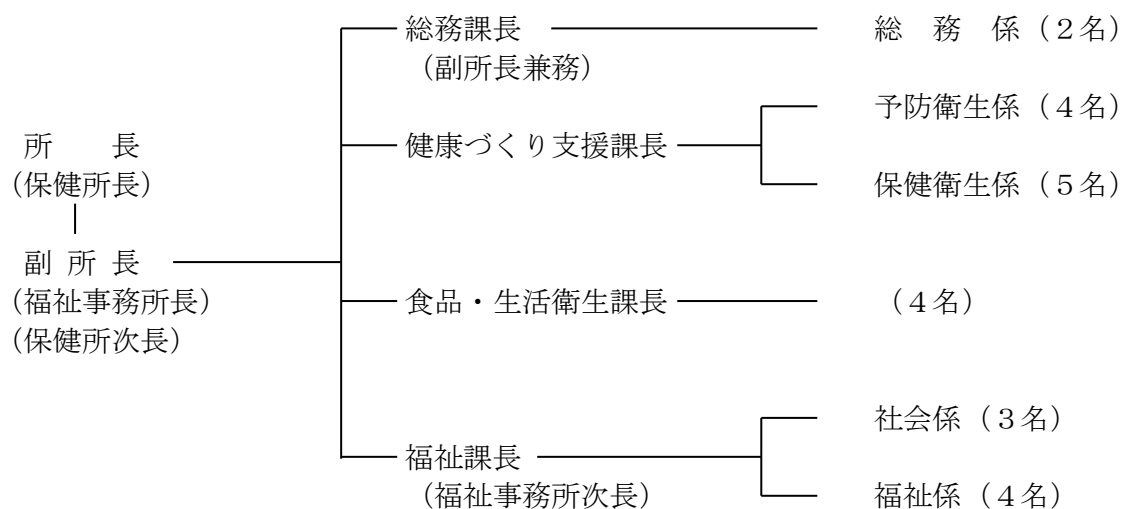
(県毎月人口異動調査 令和 2 年 4 月 1 日現在)

区 分	人 口 (単位： 人)	世帯数 (単位： 戸)	年齢 3 区分別人口 (単位：人)			年齢 3 区分別割合 (単位：%)		
			0～14 歳	15～64 歳	65 歳以上	0～14 歳	15～64 歳	65 歳以上
上 松 町	4,129	1,733	396	1,994	1,736	9.6	48.3	42.1
南木曽町	3,927	1,616	412	1,813	1,697	10.5	46.2	43.3
木 曽 町	10,572	4,709	962	5,097	4,471	9.1	48.4	42.5
木 祖 村	2,674	1,026	288	1,223	1,152	10.8	45.9	43.3
王 滝 村	729	369	43	372	314	5.9	51.0	43.1
大 桑 村	3,427	1,514	289	1,640	1,498	8.4	47.9	43.7
計	25,458	10,967	2,390	12,139	10,868	9.4	47.8	42.8
長野県計	2,037,622	829,204	247,006	1,125,186	649,328	12.2	55.7	32.1

(注) 人口総数については年齢不詳を含み、年齢 3 区分別人口・割合については年齢不詳を含まない。

Ⅱ 組織及び職員の配置状況

(1) 組織



職 種	事 務	技 術							計
		医 師	保 健 師	管 理 栄 養 士	臨 技 床 検 査 師	薬 剤 師	獣 医 師	施 設	
人数	13	1	5	1	1	3	2	1	27

(注) 職員数には、育休職員、会計年度任用職員、団体職員は含まない。

Ⅲ 業務の概況

総 務 課

1 医療業務

平成 30 年 3 月に「第 2 期信州保健医療総合計画」の一部として策定された「第 7 次長野県保健医療計画」では、少子高齢化の更なる進展に伴う社会保障費用の増大、家族形態の変化など、近年の保健医療を取り巻く社会環境の変化に的確に対応するため、限られた資源を重点的・効率的に活用し、誰もが身近なところで安全かつ効率的で質の高い医療を受けることができる体制を目指している。

この計画に基づき、5 疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患）、5 事業（救急医療・災害時における医療・へき地の医療・周産期医療・小児医療）並びに在宅医療に関して、地域の実情に応じた各医療機関の機能分担と連携体制の整備・充実に努めるとともに、保健・医療・福祉（介護）が相互に連携し、自治の力を活かして地域住民がお互いに支え合うことができる、切れ目のない地域包括ケア体制の構築を目指す。

（１）医療機関数

（令和 2 年 4 月 1 日現在 単位：か所、床）

種別 町村名	病 院								一般診療所		歯科診療所	助産所	施術所	歯科技工所	看護師養成所
	施設数	病 床 数							施設数	病床数					
		一 般	医 療 療 養	精 神	結 核	感 染	計	介 護 医 療 院							
上 松 町									2		1		3		
南木曽町									1		1		1	2	
木 曽 町	1	176	19			4	199	20	5		8		10	3	1
木 祖 村									1		1		4		
王 滝 村									1		※1		1		
大 桑 村									1		1		4		
計	1	176	19			4	199	20	11		13		23	5	1

（注）木曽病院の一般病床（176 床）には、地域包括ケア病棟 48 床を含む。

（注）診療所は、一般診療所のほか、特養等併設診療所（7 施設）、保健所（1 施設）がある。

※ 王滝村の歯科診療所は、一般診療所（国保直営王滝診療所）の標榜診療科

(2) 医療従事者数

(平成 30 年末現在 単位：人)

区 分		医師	歯科 医師	薬剤 師	保健 師	助産 師	看護 師	准看 護師	歯科 衛生士	歯科 技工士
実 数	上 松 町	2	1	2	7	0	14	4	0	0
	南木曽町	1	1	3	7	0	13	9	3	1
	木 曽 町	30	8	18	17	13	201	21	9	3
	木 祖 村	1	1	3	6	0	8	4	1	0
	王 滝 村	1	1	0	0	0	0	3	0	0
	大 桑 村	2	1	3	6	0	6	5	0	0
	計	37	13	29	43	13	242	46	13	4
人 口 10 万 人 対	管 内	139.0	48.8	108.9	161.5	48.8	909.0	172.8	48.8	15.0
	長 野 県	233.1	77.1	182.8	77.2	42.5	1,083.3	233.9	124.9	31.8
	全 国	246.7	80.5	190.1	41.9	29.2	963.8	240.8	104.9	27.3

(注) 資料：「医師・歯科医師・薬剤師調査」「衛生行政報告例」（厚生労働省）
「業務従事者届」（医療推進課）

人口は、平成 30 年 10 月 1 日現在を使用

（国、県は総務省「人口推計」、管内は「毎月人口異動調査」）

(3) 救急医療体制

区分	目的	方法	実施体制	備考
一 次 救急医療	休日・夜間における 比較的軽症な急病 患者の医療（初期医 療）の確保	在宅当番医制 （日・祝日の昼間）	木曽医師会 木曽郡歯科医師会	参加医療機関 9 参加医療機関 10
		一次救急医療事業 （土・日・祝日）	木曽広域連合	信州大学医師派遣
		救急告示医療機関 （平日夜間）	県立木曽病院	
二 次 救急医療	休日・夜間における 入院治療を必要と する重症救急患者 の医療の確保	病院群輪番制 （24 時間体制）	県立木曽病院	

(4) 災害時における医療体制

災害時における重篤患者の救命医療等の高度の診療機能を有し、被災地からの患者を受け入れ、広域医療搬送に係る対応等を行う災害拠点病院として県立木曽病院が指定されており、耐震構造の建物のほか、自家発電装置、受水槽、ヘリポートを有している。

また、同病院は被災者のトリアージや救命処置等を行うDMAT（災害派遣医療チーム）を保有するDMAT指定病院として指定されている。

DMAT指定病院 (平成29年4月1日現在 単位：人)

病院名	DMAT登録者数（人）			
	医師	看護師	業務調整員	計
県立木曽病院	2	8	4	14

県医療推進課調べ

(5) ヘき地医療対策

ヘき地における医療を確保するため、ヘき地医療拠点病院の指定を受けた県立木曽病院は、定期的に巡回診療に当たるなど、ヘき地における医療活動を継続的に実施している。

また、ヘき地診療所として、管内に4カ所の診療所が運営されており、地域のヘき地医療を支えている。

ア ヘき地医療拠点病院

病院名	指定年月日
県立木曽病院	平成19年4月1日

イ ヘき地診療所

町村名	診療所名	開設年月日
木 曽 町	木曽ひよし診療所	平成17年11月17日(平成29年4月1日移転開設)
	木曽みたけ診療所	平成17年11月17日
木 祖 村	医療法人奥原医院	平成14年2月1日
王 滝 村	王滝村国保診療所	平成2年5月11日

ウ 無医地区等の状況

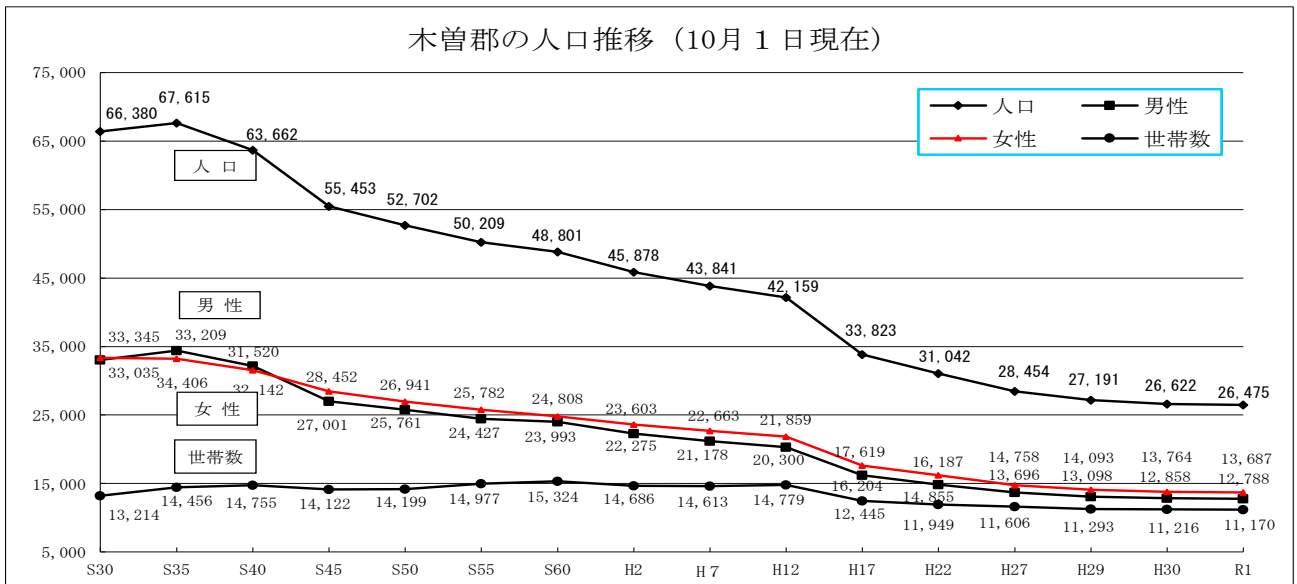
町村名	地区名	世帯数	人口	最寄医療機関 まで公共交通 の所要時間	無医 地区	無歯科医 地区
上 松 町	西 奥	戸 19	人 34	分 76	(○)	(○)
	高 倉 ・ 台	19	40	78	(○)	(○)
南木曽町	与 川	58	164	30	○	○
王 滝 村	滝 越	11	18	27	(○)	(○)
	御岳高原・ 八 海 山	13	22	22	(○)	(○)
大 桑 村	伊 奈 川	43	135	35		○
	小 川	15	38	25		(○)
計		178	451		5	7
(うち無医地区等計)		120	278			

(○) 準無医地区、準無歯科医地区

(注) 令和元年無医地区等・無歯科医地区等調査(厚生労働省医政局 5年毎調査)

(6) 人口動態

○人口推移



出典：長野県統計情報データ 毎月人口異動調査 市町村別人口と世帯（各年10月1日）

○三大生活習慣病の死亡状況

年	悪性新生物			脳血管疾患			心疾患			死亡総数
	実数	率	割合	実数	率	割合	実数	率	割合	
昭和 50	78	147.9	17.3	137	259.9	30.4	69	130.9	15.3	450
55	81	161.3	18.8	133	264.9	30.9	65	129.5	15.1	430
60	117	239.7	24.1	92	188.5	19.0	108	221.3	22.3	485
平成 2	100	218.0	22.1	85	185.3	18.8	94	204.9	20.8	452
7	132	301.1	28.5	91	207.6	19.7	81	184.8	17.5	463
22	99	318.9	20.4	57	183.6	11.8	80	257.7	16.5	485
23	100	326.8	19.5	61	199.3	11.9	90	294.1	17.5	514
24	122	405.3	24.6	65	216.0	13.1	85	282.4	17.2	495
25	103	348.6	20.6	62	209.8	12.4	78	264.0	15.6	501
26	123	423.8	25.4	46	158.5	9.5	74	255.0	15.3	484
27	118	415.5	22.3	51	179.6	9.6	93	327.5	17.5	530
28	113	406.2	20.7	30	107.8	5.5	103	370.3	18.9	545
29	115	432.0	21.0	45	169.0	8.2	83	311.8	15.2	547
30	102	383.1	20.6	53	199.1	10.7	83	311.8	16.8	494
(県) 30	6,312	306.0	24.8	2,405	116.6	9.5	3,968	192.3	15.6	25,422
(国) 30	373,584	295.5	27.4	108,186	85.6	7.9	208,221	164.7	15.3	1,362,470

(注) 率：人口10万対、割合：死亡総数に占める割合（人口は各年10月1日現在）

出典：人口動態調査 保管統計表 都道府県編（報告書非掲載表）